



好評の竹水ようかん

発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

7月のイベント報告

13・27日(水) 定番イベント、県民の森ノルディックウォーキングは、両日 21 名にご参加頂き、ヤマユリやアジサイなど季節の花々を楽しみながら2時間ほど園内を歩きました。

17日(日)の県民の森野鳥クラブでは、3度目の正直でサンコウチョウが姿を現してくれました。子ヤマガラのかわいい姿も確認できました。



もみーまんが 8月号
水てっぽうであそぼう



なぜか
はんちゃん集中ごうけきやぞ!

中央記念館の近くにコーナーがあるよ

エゾゼミ
(3cm以上で濃い赤褐色)



18日(月)には、西古川地区公民館のみなさんが、アスレチックと竹水てっぽうと竹水ようかんづくりの体験に来て下さいました。24日(日)の竹クラフト講座でも、34名のみなさんに水てっぽうと水ようかんづくりを楽しんで頂きました。

なお団体でのクラフト・園内の案内等歓迎致しますので、ご希望の方は、管理事務所までご相談下さいませ。

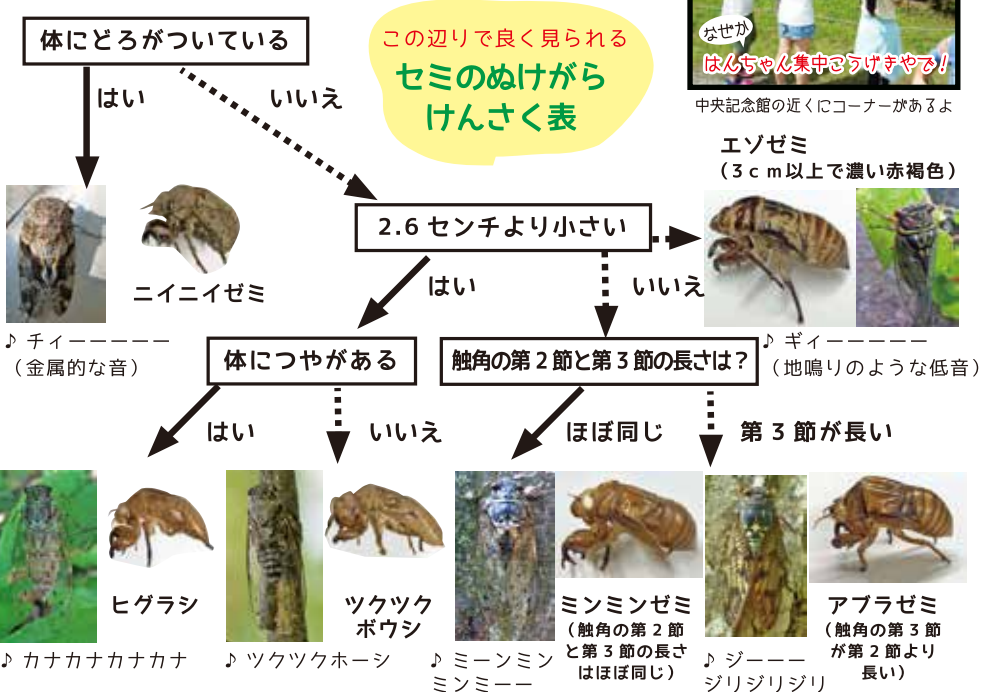
県民の森名木紹介 vol.21 サウグルミ

青少年の森から西に向かう管理道を行くと、間もなく左側の林縁にまっすぐに伸びてひも状の雄花を下げた数本の高木に気づくでしょう。サウグルミです。

クルミ、と言っても食べられる実は付けませんが、20メートル近く



に伸びる堂々とした樹形は一見に値します。周囲の緑に紛れて見難いですが、探してみてください。(工藤)



今月の けんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのみとコマ



フシグロセンノウ (サデシコ科) 節黒仙翁



クサザキ (シソ科) 奥木・クサザキ



記念館周辺にてかわいい子スズメに出会いました。くちばしの根元がまだ黄色く、模様も淡くぼんやりとしています。スズメ以外にも子供の名残が見られる野鳥たちがこの時期はよく見られますので、じっくりと観察してみてください。(入岡)



野鳥クラブ開催中に、Mさんが羽化中のオニヤンマを発見しました。敵に襲われないよう目立たない場所で、数時間かけて羽化します。ちなみに、どんな昆虫でも必ず脱皮によってのみ成長しますが、トンボやゼミの場合は、幼虫の最後の脱皮が「羽化」と呼ばれます。(入岡)

名前は茎の節のあたりが少し黒く見えることから。センノウの名前は、京都の嵯峨にあった仙翁寺(廃寺)に植栽されていた中国産の“仙翁花(せんのおげ)”に似た花からつけられました。朱赤の色は、ほの暗い林の中でも良く目立ち、全体に柔らかな印象を与える野草です。(駒野)

枝や葉をちぎると強い匂いがすることから名前が付きました。この匂いは、葉や若枝に生える腺毛から発し、若い葉を茹でると匂いが消え、山菜として食べられている地方もあるそうです。この時期、芳香のある綺麗な花を多数つけています。花はジャスミンの香りがするといわれています。(駒野)